

2020 年度  
学校教育における  
即興型英語ディベートの推進・指導者育成  
中間報告書

助成：公益財団法人 日本財団

2020 年 10 月

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）



# 目次

## 1. 研修会・地域交流大会・合宿・大会

1.1	PDA 東海交流大会 体験会（岡崎高校）	4月30日
1.2	PDA 東海交流大会 体験会（静岡高校・四日市高校）	4月30日
1.3	PDA 東海交流大会 体験会（岐阜高校）	5月1日
1.4	2020年度神奈川県教員研修(神奈川県教育委員会) 第1回英語4技能指導法研究グループ研究会	6月3日
1.5	PDA 東海公立高校即興型英語ディベート交流大会	6月13日
1.6	2020年度神奈川県教員研修(神奈川県教育委員会) 第2回英語4技能指導法研究グループ研究会	7月3日
1.7	PDA 四国交流大会 体験会（高松高校）	7月8日
1.8	PDA 青森県即興型英語ディベート交流大会	7月18日
1.9	PDA 関西交流大会 体験会（神戸高校）	7月28日
1.10	PDA 関西交流大会 体験会（堀川高校）	8月4日
1.11	PDA 関西交流大会 体験会（北野高校）	8月4日
1.12	PDA 関西交流大会 体験会（奈良高校）	8月5日
1.13	PDA 関西交流大会 体験会（膳所高校）	8月6日
1.14	PDA 関西交流大会 体験会（彦根東高校）	8月7日
1.15	PDA 全国高校即興型英語ディベート合宿・大会 2020	8月8日・9日
1.16	PDA 関西公立高校即興型英語ディベート交流大会	8月22日
1.17	2020年度神奈川県教員研修(神奈川県教育委員会) 第3回英語4技能指導法研究グループ研究会	9月2日
1.18	PDA 神奈川交流大会 体験会 （柏陽高校・希望ヶ丘高校・平塚江南高校）	9月12日
1.19	PDA 首都圏交流大会 体験会（船橋高校）	9月12日
1.20	PDA 首都圏交流大会 体験会（千葉高校）	9月14日
1.21	PDA 四国交流大会 体験会（松山東高校）	9月18日
1.22	PDA 神奈川交流大会 体験会 （横浜平沼高校、横須賀高校、横浜翠嵐高校、相模原高校）	9月19日
1.23	PDA 北海道即興型英語ディベート交流大会	9月21日
1.24	PDA 四国交流大会 体験会（徳島市立高校）	9月27日
1.25	PDA 首都圏交流大会 体験会（日比谷高校）	9月30日

## PDA 滋賀県立膳所高校即興型英語ディベート 体験会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2020年8月6日（木）15:00-17:30

会場：滋賀県立膳所高等学校

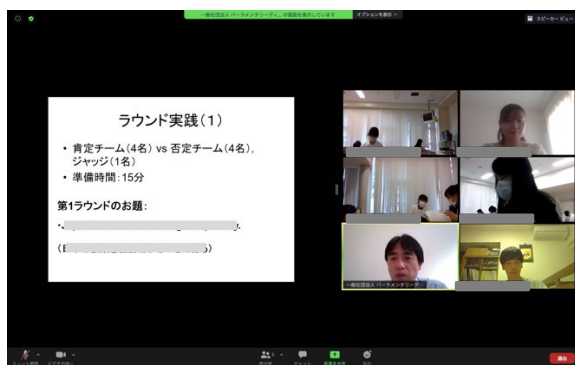
参加者：生徒10名、教員2名

ジャッジ：PDAスタッフ、一橋大学

助成：駐大阪・神戸アメリカ総領事館、公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI 財団

初めに、PDAより、POI(ディベート中の質疑応答)などルールに関する確認が行われ、早速第1ラウンドが始まりました。

第1ラウンドでは、現状分析を細やかに رفتり、相手のスピーチをよく聞いてレスポンスするだけでなく、活発にPOIが飛び交い、お互いのわかりにくかった点を理解しようと努めたり、相手の論点の痛いところをつくPOIをしようと試みたりする様子がみられました。ディベートが終わると、ジャッジから勝敗の理由と個人コメントが行われました。個人コメントでは良かった点だけでなく、改善点が具体的に説明され、生徒は次のディベートに活かそうと真剣にコメントを聞きました。



論題発表の様子



その場で英語に変換しながらスピーチ

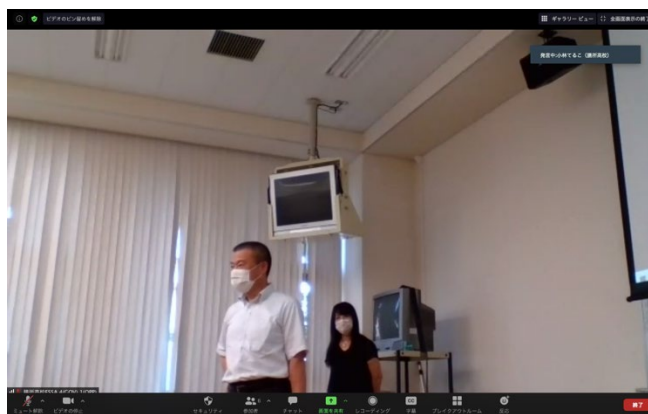
第1ラウンドが終わると、小休憩をはさみ、第2ラウンドのはじまりです。第1ラウンドではあまり詳しく理解のできていなかったルールについてもジャッジからのコメントを通してしっかりと理解し、それだけでなくどんな反論が来るか予想したり、相手の出方によって出すポイントを変えるために複数のパターンを想定してポイントをたくさん考えたりなど戦略を練ることができました。

ディベートでは、ただ真正面から否定だけでなく、相手に譲歩した上で反論をしたり、身の回りの具体的なエピソードや、テレビで見たエピソードを具体例として説明したりするなど、第1ラウンドから大きく成長した姿が見られました。



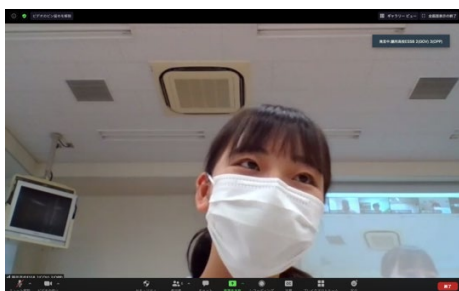
お互いの健闘を称えてエアー握手

最後に、榎原校長先生より、「即興型の英語ディベートではいろいろな力が求められます。また、それらの力はいろいろな場面でこれから先役にたつでしょう。ぜひこれからの頑張ってください。」とエールが送られました。



榎原校長先生よりメッセージ

第2ラウンドでベストディベーターに選ばれた生徒が「第1ラウンドでは思うようにディベートをすることができなかったが、ジャッジのフィードバックや先輩のディベートしている様子を見て学び、第2ラウンドでは成長を実感することができた。」「楽しかった。即興で英語でディベートするという事は、相手の言うことに対して即座に反応して、論理的に考えて、それを英語にして話す必要があり大変だが、だからこそ力になると感じた。」と今日の感想を述べました。



2ラウンドディベートをした感想

## 参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・POI ができなかつたのが残念でしたが、2 回目はベストディベーターにも選ばれて、とても達成感のある 1 日でした！
- ・英語を通じて話すことでみんなのいろんな考えがわかって面白かった。
- ・英語で論理的に、即興ディベートという形で討論し合うのは初めてで、新鮮でした。また、色々なアドバイスを貰えて嬉しかったです。今回学べたことやいただいたアドバイスをともに、もっと論理的に英語で討論できるようになりたいです。
- ・もっと語彙力を上げて、表現の幅を広げたいと思いました。本気で英語、勉強します！
- ・英語力の不足を感じたが、楽しく議論できてとてもよかった。
- ・今まで、英語で即興で意見を交わすということをした事がなかったので、新たな経験ができて、英語の力が確実にのびたと思いました。私は、英語が苦手なので、とても難しかったです。回数をこなして、英語力をもっと身につけたいと思います。

### ベストディベーターに選ばれた皆さん

■■■■さん  
■■■■さん  
■■■■さん

### ベスト POI に選ばれた皆さん

■■■■さん  
■■■■さん  
■■■■さん  
■■■■さん  
■■■■さん

## PDA 滋賀県立彦根東高校即興型英語ディベート 体験会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2020年8月7日（金）13:00-15:30

会場：滋賀県立彦根東高等学校

参加者：生徒11名、教員2名

ジャッジ：PDA スタッフ

助成：駐大阪・神戸アメリカ総領事館、公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI 財団

初めに、青山校長先生による英語でのスピーチが披露されました。「ミスを恐れず、挑戦することが重要です。頑張ってください。」と激励のご挨拶をいただきました。その後、PDAより、簡単にルールの確認を8月22日に開催予定の関西交流大会やルールについて簡単に説明が行われ、早速第1ラウンドが始まりました。

ディベートが始まると、準備時間に考えたことをスピーチするだけでなく、相手の話をよく聞いて、即座にどのように反論するかを考え、論理的に説明することができました。

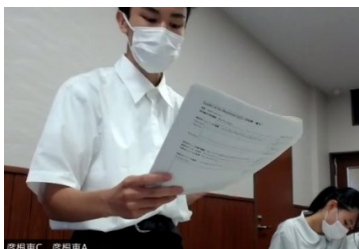


青山校長先生(中央)のご挨拶



お互いの健闘を称えてエアー握手

第1ラウンドが終わると、第2ラウンドの始まりです。第1ラウンドでジャッジから言われた、POI（ディベート中の質疑応答）にチャレンジする、主張に理由をつける、理由に具体例をつける、などに意識しながら第1ラウンドよりも白熱したディベートとなりました。



落ち着いて堂々とスピーチしています

ディベートが終わるとお互いに健闘を称えてエアー握手を行いました。握手の後はジャッジからのフィードバックの時間です。よかった点と、どのようにするとより説得力のある内容になるかアドバイスの説明がありました。「1人でもできる上達方法はないか」など、さらに成長するために何ができるかをジャッジに質問するなど、フィードバックの時間にも意欲的な姿が見られました。



エアー握手の様子



## 参加者の声（アンケートより抜粋）

・みんなで英語だけで話し合うことで英語の表現力がついたと実感できた。1回目はあまり上手く自分の意見を表現出来なかったのですが、2回目は前よりも上手く表現できとても楽しかったです。

・英語でそれぞれの意見を話すことができ、自分の考えなかった意見までも出て、良い刺激になった。

・自分の意見を言うことに加えて生活の中で疑問に思ってることとかを見直しながら、英語力を高められるようになったと思った。

・精一杯自分で考えるのがとても面白かったです！沢山経験を積んでもっと実力を伸ばしたいです。

・難しさもあったけれど、話せたときはとても楽しかった。

・即興の英語ディベートは思っていたよりも難しく、かなり高い対応力が必要だと感じました。ですがこれをたくさん繰り返すことで、英語力を確実に伸ばせると思うのでまたやってみたいです。

・いい意見を出せたり、いい反論を出せたりしたときに嬉しかったから。

・上手く自分の意見をまとめて話すのは難しかったが、どうすれば相手に的確に伝えるのかを考えて取り組むことができたのはとても良い経験だった。

### ベストディベーターに選ばれた皆さん

■■■■さん

■■■■さん

■■■■さん

■■■■さん

### ベスト POI に選ばれた皆さん

■■■■さん





## 一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会

(PDA) 日程：2020年8月8日(土)～9日(日)

(1日目) 練習3ラウンド、レクチャー、予選1、Zoom夕食会

(2日目) 予選2、予選3、キーノートレクチャー、レクリエーション、準決勝、決勝

会場：Zoomにてリモート開催(大阪府立大学内に本部設置)

主催：一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会(PDA)

後援：文部科学省

助成：公益財団法人日本財団、公益財団法人KDDI財団



参加者数：281名(64チーム)

(福岡県)福岡県立城南高等学校、(栃木県)作新学院高等学校トップ英進部、栃木県立佐野高等学校、(神奈川県)神奈川県立茅ヶ崎北陵高等学校、聖光学院高等学校、神奈川県立平塚江南高等学校、神奈川県立相模原高等学校、浅野高等学校、法政大学国際高等学校、栄光学園高等学校、山崎学園富士見高等学校、神奈川県立柏陽高等学校、(滋賀県)近江兄弟社高等学校、(三重県)三重県立四日市高等学校、(大阪府)関西大倉高等学校、(福井県)福井県立藤島高等学校、(岩手県)岩手県立一関第一高等学校、岩手県立盛岡第一高等学校、(京都府)京都府立嵯峨野高等学校、(長野県)長野県立松本県ヶ丘高等学校、長野県立松本深志高等学校、(兵庫県)雲雀丘学園高等学校、神戸大学附属中等教育学校、兵庫県立千種高等学校、神戸市立葺合高校、(山口県)山口県立山口高等学校、(東京都)東京都立小石川中等教育学校、白百合学園高等学校、(鹿児島県)鹿児島県立大島高等学校、(徳島県)徳島県立城ノ内高等学校、(埼玉県)さいたま市立浦和高等学校、埼玉県立川口北高等学校、(熊本県)熊本県立第二高等学校、(千葉県)翔凜高等学校、(富山県)富山国際大学附属高等学校

(順不同)

開催趣旨：

〈高校生向けプログラム〉

本合宿・大会は、即興型英語ディベートの実践を中心としたプログラムで、集中的に「英語での発信力」、「論理的思考力」、「幅広い知識」、「プレゼンテーション力」、「コミュニケーション力」を鍛えます。大学生・大学院生をはじめとした補助スタッフによる手厚い指導も伴い、効果的に上記スキルを向上させます。合宿での集中実践の成果を効果的に発揮できるよう、後半には大会を設けています。また他校生徒との交流も深まります。

〈高校教員向けプログラム〉

本合宿・大会では、生徒のみならず、教員を対象としたプログラムを同時に進行させます。授業に導入できる即興型英語ディベートの手法を知っていただく、また即興型英語ディベート実践を経験していただくプログラムとなっています。授業での導入を前提とするため、合宿では一つのコマを約50分としています。また、さらに効果的なプログラムを共に開発するための意見交換会も設けています。

論題（論題は、毎回ディベート開始15分前にはじめて発表されます）：

論題1：A grade should be decided based on learning outcomes.

（学習成果に応じて学年を決めるべきである。）

論題2：A fat tax should be introduced.

（脂肪税を導入すべきである。）

論題3：Persons who spread a virus on purpose should be sentenced to death.

（ウイルスを故意に拡散すれば、死刑とする。）

論題4：Japan should accept more foreign refugees.

（日本はもっと難民を受け入れるべきである。）

論題5：Japan should legalize euthanasia.

（日本は、安楽死を合法化すべきである。）

論題6：A pet tax should be introduced.

（ペット税を導入すべきである。）

論題7：Authoritarianism is better than democracy during the COVID-19 pandemic.

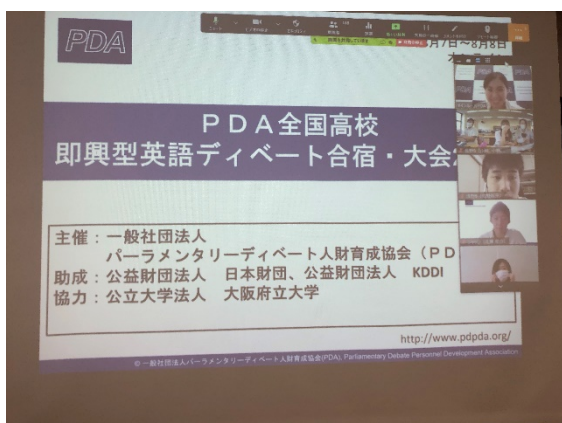
（コロナ禍では、民主主義より権威主義の方がよい。）

論題8：A life imprisonment should be imposed on a person who lead others to commit suicide with slander.

（誹謗中傷で自殺に追い込んだ場合、終身刑を課す。）

## 1 日目

開会式では、まず今回の参加校の紹介がなされました。Zoom での開催は初めてであることから、カメラとマイクのチェックも兼ねて学校の名前が呼ばれると周りの学校に挨拶する練習をしました。そのあと、スタッフの紹介、合宿スケジュールの確認、ルール諸注意が行われました。今回は、授業の部、課外活動の部 初心者、課外活動の部 一般、教員の部の4部が同時並行です。授業の部においては、学校の通常授業において即興型英語ディベートに取り組んでいる学校を対象とし、普段の授業への積極的な参加の成果を発揮する場、また合宿で学んだことを各校に持ち帰られるシステムとしています。



開会式の様子①



開会式の様子②

練習ラウンド1の論題は「学習成果に応じて学年を決めるべきである」です。教員の部はラウンドをジャッジする先生、生徒の様子を見学する先生に分かれました。生徒たちはそれぞれの経験を参考にどのような議論ができるかブレストシート（アイデア出しシート）にメモしていきました。ディベートが終わると、他校の生徒と自己紹介をし、現在の学校の状況などを話し合う姿が見られました。

練習ラウンド2の論題は「脂肪税を導入すべきである」です。ラウンド1より実体験から離れた議題でしたが、生徒たちはそれぞれの意見を出し合い建設的なディベートに努めていました。

練習ラウンド3の論題は「ウイルスを故意に拡散すれば、死刑とする」です。新型コロナウイルス影響下にあることから、白熱した議論が交わされていました。

また、練習ラウンド中は各テーブルで生徒にもジャッジ役を割り振り、他人のディベートを聞いて勝敗やその理由を振り返ってもらう練習をしました。ジャッジを務めることが初めてという生徒もいましたが、事前に視聴してもらったジャッジレクチャーの動画を参考に、客観的な視点でディベートを評価する体験は生徒たちにとって新鮮だったようです。

並行して教員の部でもディベートが行われ、実際にディベーターを体験すると同時にジャッジの練習をする機会が設けられました。

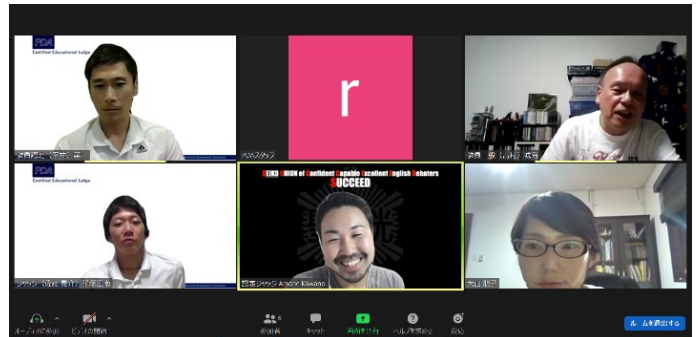
一日目の最後は、生徒の予選1です。予選1の論題は「日本はもっと難民を受け入れるべきである」です。練習ラウンドでディベーターやジャッジを務めた経験を活かし、活発な議論が行われました。ディベート後、国境なき医師団様の協力により難民キャンプの様子を映した映像をVRゴーグルで視聴し、議論した内容をより理解できたようです。

本来の合宿では参加者が一堂に会し交流を深める夕食の時間ですが、今回はリモートでの開催のため Zoom での夕食会が開催されました。ディベートの準備中にも使用したブレイクアウトルームに無作為に3、4人の生徒が分けられ、限られた時間の中で自己紹介や学校のオンライン授業の様子など、各地の様子を聞いていました。普段の合宿や大会で出会

うよりもより様々な地域の生徒と交流でき、楽しかったというコメントが生徒から聞かれました。加えて、教員懇親会も開催され、それぞれの学校でのパーラメンタリーディベートの導入具合など意見交換が行われました。



Zoom 夕食会の様子



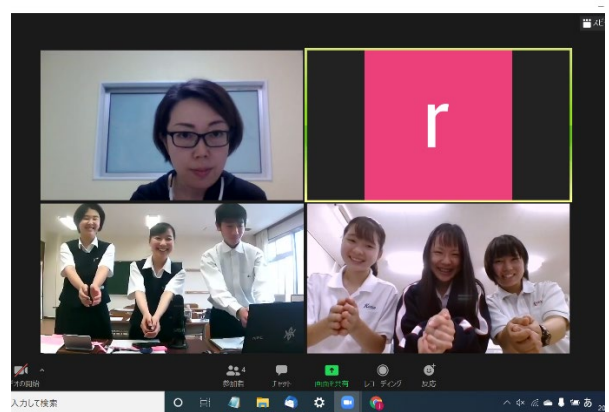
教員懇親会の様子

## 2 日目

2 日目は朝から予選 2 が始まります。予選 2 の論題は「日本は、安楽死を合法化すべきである」です。Zoom を用いたディベートにやや慣れてきた様子で、POI 等の積極的なディベートへの参加が見られました。

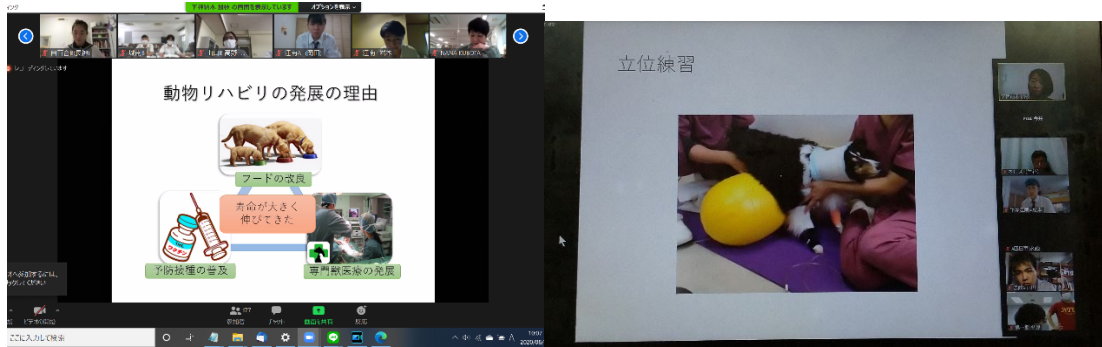


予選②の様子



ラウンド後はエア握手も忘れずに

続いて予選 3 の前に、論題に関するキーノートレクチャーを理学療法士の下神納木加枝先生にいただきました。先生の活動である動物リハビリが動画などを通して紹介され、生徒たちは普段目にする事のない活動に興味津々な様子でした。



キーノートレクチャーの様子①

キーノートレクチャーの様子②

レクチャーの内容を受けて、予選3の論題は「ペット税を導入すべきである」です。レクチャーで話された他の国での事例や日本の状況を参考に、様々な議論が飛び交いました。



予選③の様子

積極的に POI!



両手を使って POI

昼食前に、ナガシマスパーランド様の協力により、VRゴーグルを用いたアトラクションの体験が行われました。体験する人が椅子に座り、周りの人が椅子を揺らしたりうちわで風を送ったりすることで実際にアトラクションに乗っているような臨場感が味わえたようです。体験中の生徒たちからは歓声や悲鳴が聞こえ、大変楽しんだ様子でした。



### VR アトラクション体験の様子

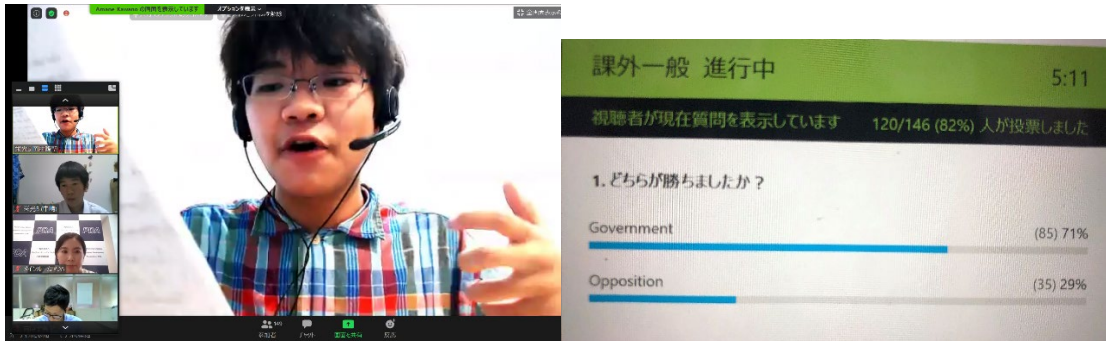
そのあと昼食を経て、準決勝進出チーム（授業の部、課外活動の部(一般)）、決勝進出チーム（課外活動の部(初心者)）の発表（ブレイクアナウンスメント）が行われました。

予選とは違い、多くの観客が見守る中、準決勝（授業の部、課外活動の部(一般)）、決勝（課外活動の部(初心者)）が開催されました。論題は「コロナ禍では、民主主義より権威主義の方がよい」です。予選ラウンドとは毛色の違う論題になりましたが、生徒たちは変わらず白熱した議論を繰り上げました。



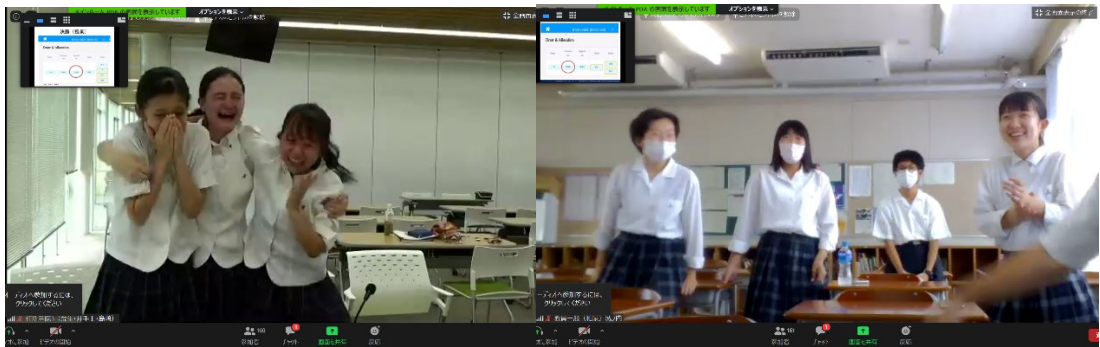
### 準決勝の様子

いよいよ決勝です。決勝の論題は「誹謗中傷で自殺に追い込んだ場合、終身刑を課す」です。多くの生徒や教員が見守る中、全員が堂々とディベートを行いました。本合宿では生徒がジャッジを経験したため、決勝では生徒の投票も行われました。

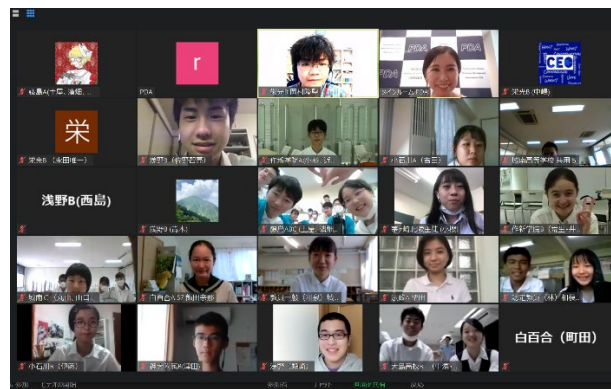


決勝の様子

生徒の投票が行われました



受賞の喜びをチームメイトと分かち合う



ベストディベーター賞の皆さんと



ベスト POI 賞の皆さんと (POI ポーズで！)

結果

チーム賞 (授業の部)

優勝： 作新学院高等学校トップ英進部 B

準優勝： 作新学院高等学校ト

ップ英進部 A

3位： 作新学院高等学校トップ英進

部 C

福岡県立城南高等学校 B

チーム賞 (課外活動の部 初心者)

優勝： 浅野高等学校 B

準優勝： 福井県立藤島高等学校 C

チーム賞 (課外活動の部 一般)

優勝： 栄光学園高等学校 B

準優勝： 福井県立藤島高等学校 A

3位： 浅野高等学校 A

さいたま市立浦和高等学校 B

ベストディベータ賞 (授業の部)

- 作新 B XXXXXXXXXX
- 作新 A XXXXXXXXXX
- 城南 C XXXXXXXXXX

ベストディベータ賞 (課外活動の部 初心者)

- 法政 A XXXXXXXXXX
- 藤島 C XXXXXXXXXX
- 相模原 C XXXXXXXXXX
- 城ノ内 A XXXXXXXXXX
- 大島 A XXXXXXXXXX
- 小石川 B XXXXXXXXXX
- 浅野 B XXXXXXXXXX
- 茅ヶ崎北稜 XXXXXXXXXX



作新 B



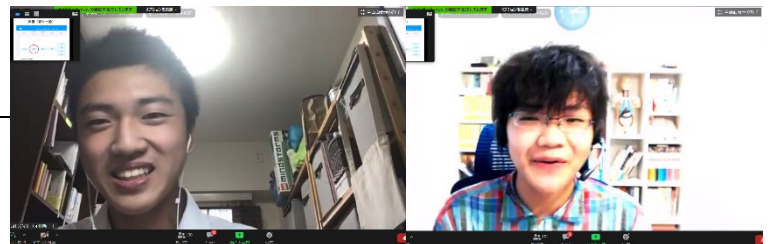
浅野B(西島)

浅野B(青木)



浅野B(佐野智亮)

浅野 B



栄光 B



## アンケート（抜粋）

### 生徒の声

- 楽しかったです。今後ももっとがんばらなければと良い刺激になりました。（白百合学園高校・1年）
- 本当に勉強になりました！次は全てのラウンドで勝って優勝目指します！ありがとうございました！（徳島県立城ノ内高校・1年）
- **I was able to catch the main point and see how judges think from their points of view.**（富山国際大学附属高校・2年）
- 自分の勉強のモチベーションになりました。これから頑張っていきます。（鹿児島県立大島高校・2年）
- とても勉強になった。権威ある先生方にジャッジしていただける良い機会だった。（栃木県立佐野高校・2年）
- 上手な人の英語をたくさん聞くことが出来たし、自分もいつもより英語を話すことが出来た。（山口県立山口高校・1年）
- オンライン開催で他校の生徒たちと実際に会えなかったのは寂しかったですが、オンライン上でも交流することができたので良かったです。また各試合の **motion** では、今の時事問題に関わることも多く、大変勉強になりました。（さいたま市立浦和高校・2年）
- （ジャッジ体験について）公平な判断を下すことが難しかったが、しっかり考えることができた。（岩手県立一関第一高校・1年）
- 上位高のディベートを見て、内容や理由などの説明方法が分かったので良い刺激になった。ジャッジも試してみたい、どんなところを見るのかが勉強になった。（神奈川県立茅ヶ崎北陵高校・1年）
- 遠隔ディベートという点で非常に助かりました。普段経験出来ないような高校と試合ができ、学ぶ事ばかりでした。出来れば今後も私たちの様に遠い地区からもためらう事なく参加できるよう、オンラインでの参加を希望します。よろしくお願いします。（岩手県立一関第一高校・2年）
- 全国の英語やディベートが好きな高校生と試合ができ、また試合以外での交流もできてとても楽しかったです。とくに土曜日の夕食会は気軽にいろんな人と話ができとても貴重な体験でした。コロナさえなければ、面と向かって話ができただけのにもっとかしかいと思います。さらにディベートが好きになり、もっと頑張りたいと思いました。ありがとうございました！（三重県立四日市高校・2年）
- いろんな人とちょっとでも話せて楽しかったです。しかし、やはり思うように自分の意見を伝えられなかった試合もあり、後悔の念が残ってしまいました。（京都府立嵯峨野高校・2年）
- 普段忘れがちな **make friends**、ディベートを楽しむことを思い出せて良かったです。ディベートがもっと好きになり、さらに頑張っていこうと思いました。（福井県立藤島高校・2年）
- 試合だけでなく、レクリエーションや食事会など楽しめる要素がたくさんあって、すごくよかったです。また、全国の様々な高校さんと試合できて学ぶことも多く、自

身の改善点なども見つけることができ、今後の上達につなげられる良い機会だった。  
(さいたま市立浦和高校・2年)

#### 教員の声

- 毎年楽しみにしておりますが、今年も運営スタッフの皆様のおかげで充実した時間を過ごすことができました。様々なトラブルに対処していただきまして、ありがとうございました。(教員)
- スタッフの方々のお蔭です！本当にお疲れさまでした！！実際に、またいつの日かお会いしたいですね！！(教員)
- PDA が一番先進的に様々なことを取り組んでいると思います。特にジャッジの点数の誤差をなくすルーブリックの導入は秀逸です。今後、英研の面接委員に対して実施しているような、「カリビュレーション」を導入して、すべてのスピーカーに対して統一を図ればよいと思います。(教員)
- 今年は中止だと思っていましたので、中川先生をはじめ運営して頂いた方々には感謝しかありません。生徒たちにとって、このような状況で先行き不透明な日々を送る中で、大会に参加したことは素晴らしい経験になったと思います。ありがとうございました。(教員)
- 夏の合宿には初めて参加しました。コロナ禍で大変だったと思いますが、運営お疲れ様でした。どのラウンドも勉強になりました。また、授業でも行えるように研修をしていきたいと思います。ディベートの力に加え、英語力も向上させていきたいと思います。(教員)
- 久しぶりに参加しましたが、Zoom の参加だと受け身になりがちのところ、自分が活動しなければならぬ積極性が求められ、常に ON の状態になっているところが良かったと思います。また、VR のリクリエーションも、Keynote も刺激のあるものでした。(教員)

ご支援、ご協力いただきましたすべての皆様に心より感謝申し上げます。

以上

開催日時：2020年8月22日（土）13:00-17:00

会場：オンライン（本部：大阪府立北野高等学校）

参加校：6校（堀川高校、奈良高校、神戸高校、彦根東高校、膳所高校、北野高校）

参加者：生徒35名、教員15名

スタッフ：PDAスタッフ、名古屋工業大学、九州大学、熊本高校、千種高校

主催：一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

助成：駐大阪・神戸アメリカ総領事館、公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI 財団

開会式では、参加校の校長先生よりご挨拶いただきました。膳所高校の樫原先生より、「リモートでの開催だが、これから先こういうスタイルで意見をぶつけ合うことが非常に重要になってくる。ぜひ頑張ってもらいたい。」とエールが送られました。彦根東高等学校の青山先生より、「その場で考えるということが将来のためになる。失敗を恐れずに頑張ってください。」とメッセージが送られました。そして、奈良高等学校の中野先生より、「即興型ディベートは論理的に考えることが重要になってくる。これはグローバルに活躍する上で必要なスキルになります。ぜひ今回そのスキルを磨いてください。」とご挨拶いただきました。

また、今回助成をいただいている駐大阪・神戸アメリカ総領事館のアリシア・エドワーズ様より、本交流大会への応援メッセージ及びアメリカ留学の紹介をしていただきました。本年度は、選ばれた6名のディベーターにTOEFLの受験料が進呈される旨についてもお話いただきました。



膳所高校 校長 樫原先生によるご挨拶



彦根東高校 校長 青山先生によるご挨拶



奈良東高校 校長 中野先生によるご挨拶



駐大阪・神戸アメリカ総領事館アリシア・エドワーズ様によるご挨拶

次に、PDA 代表理事である中川智皓（大阪府立大学工学研究科准教授）より挨拶があり、PDA 参加している 6 校の学校紹介、POI（質疑応答）の確認があり、早速 1 ラウンド目の対戦表が発表されました。

第 1 ラウンドのお題は「*Japan should legalize euthanasia.*（日本は、安楽死を合法化すべきである。）」でした。初めは緊張した雰囲気でしたが、実際にディベートが始まるとチームメイトと作戦を練りながら熱いディベートが繰り広げられました。同意はどうやってとるのか、治療法がない中で生き続けることの辛さ、医師の負担、家族の心情など様々な観点から議論が行われました。第 1 ラウンドからとても白熱したディベートが繰り広げられました。ディベートが終わると、ジャッジの先生のコメントを真剣に書きとる様子が見られました。



準備時間(神戸 A)



準備時間(彦根東)



ラウンド 1(北野 A vs 膳所 A)



真剣にフィードバックを聴く様子

続く第 2 ラウンドのお題は、「*It is better to study in the U.S. during high school days than after entering university in Japan.*（アメリカに留学するなら、大学入学後よりも、高校在学中にしたほうがよい。）」でした。大学の進路を決めるための材料として早めに行ったほうがいいといった意見や、大学で学びたいことを明確にしてからでないと留学しても学ぶものが限られるといった意見など、留学の目的に立ち返った意見が交わされました。



準備時間(堀川・北野混合チーム)



ラウンド1で受けたフィードバックを活かします



元気よく POI !!



ジャッジのコメントを真剣に聴いています



リモートでディベートする様子(奈良 A)



ディベート後交流する様子(神戸 B・奈良 B)

そしてジャッジを務めた教員やスタッフがもう一度この人のディベートを見たいとエキシビションディベーターに推薦した6名によるエキシビションディベートが始まりました。論題は「*Online exchange can provide the same benefits as study abroad. (オンライン交流は、海外留学と同様の利益をもたらす。)*」でした。恥ずかしさをあまり感じずに交流できるというオン

ライン交流の特徴や、文化やコミュニケーション、社会的スキルなど、特に勉強以外の面でオンライン交流は不十分であることなど、自分たちが海外に行った際の経験や友人の例などを提示しながら具体的に説明しました。また、POI を有効活用し、疑問に思った点などを積極的に質問し、返答しました。

生徒も勝敗を考えながらディベートを観戦し、ディベートが終わると Zoom の投票機能を使って Government が勝ったか Opposition が勝ったか投票が行われました。生徒ジャッジとメインジャッジの投票の結果、今回のエキシビジョンディベートは Opposition チームの勝ちとなりました。



エキシビジョンディベート PM(奈良高校)



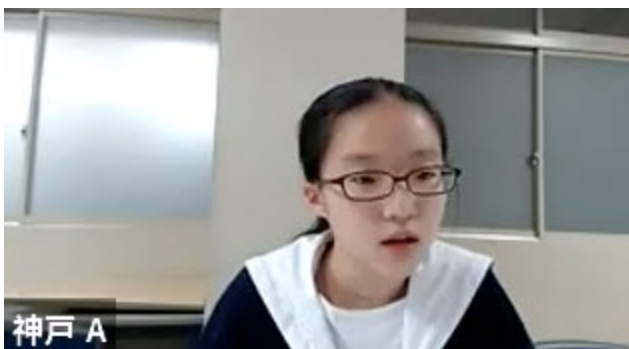
エキシビジョンディベート LO(北野高校)



エキシビジョンディベート MG(北野高校)



エキシビジョンディベート MO(奈良高校)

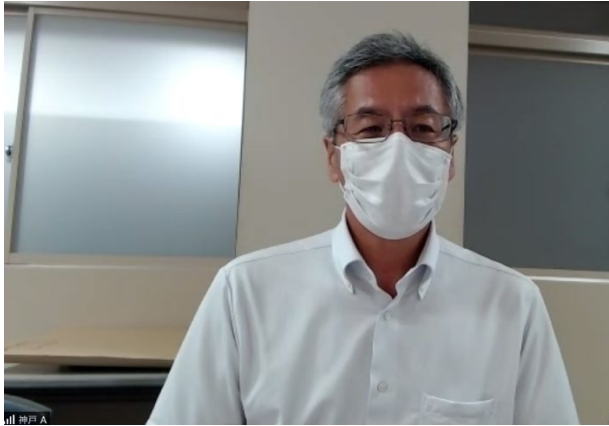


エキシビジョンディベート LOR(神戸高校)



エキシビジョンディベート PMR(膳所高校)

閉会式では、神戸高等学校校長世良田先生より、「緊張したかもしれませんが、皆さんが白熱したディベートをする姿を見て頼もしいなと思いました。幅広い知識、論理的に考える力、コミュニケーション力はこれから必要になる力です。ぜひこれからも磨き続けてください。」とエールが送られました。そして、北野高校校長萩原先生より、「皆さん、Good Job でした。今年はオンラインでの開催でしたが、来年オフラインで皆さんに会えることを楽しみにしています。お疲れ様でした。」と労いのお言葉をいただき、関西交流大会の幕が閉じました。



神戸高校 校長 世良田先生によるご挨拶



北野高校 校長 萩原先生によるご挨拶

## 【表彰】

### 〈エキシビジョンディベータ賞〉

PM	■■■■■	さん	(奈良高校 A)
LO	■■■■■	さん	(北野高校 A)
MG	■■■■■	さん	(北野高校 A)
MO	■■■■■	さん	(奈良高校 A)
LOR	■■■■■	さん	(神戸高校 A)
PMR	■■■■■	さん	(膳所高校 A)

### 〈チーム賞〉

1位	奈良高校 A
2位	膳所高校 B
3位	北野高校 A
4位	奈良高校 B
5位	神戸高校 A

### 〈ベストディベータ賞〉

■■■■■	さん	(北野高校 B)
■■■■■	さん	(北野高校 B)
■■■■■	さん	(北野高校 A)
■■■■■	さん	(膳所高校 B)
■■■■■	さん	(膳所高校 B)
■■■■■	さん	(彦根東高校)
■■■■■	さん	(神戸高校 B)
■■■■■	さん	(神戸高校 A)
■■■■■	さん	(奈良高校 B)
■■■■■	さん	(奈良高校 A)
■■■■■	さん	(奈良高校 A)

### 〈POI 賞〉

■■■■■	さん	(膳所高校 B)
■■■■■	さん	(奈良高校 A)
■■■■■	さん	(北野高校 B)
■■■■■	さん	(北野高校 A)
■■■■■	さん	(膳所高校 A)
■■■■■	さん	(奈良高校 B)
■■■■■	さん	(奈良高校 B)



北野高校 校長 萩原先生に表彰(北野 A)



チーム賞表彰 (膳所 B)



POI のポーズで表彰(POI 賞)



## 参加者の声（アンケートより抜粋）

### 生徒の声

- 即興型ディベートの楽しさを知れて良かったです。やり終わった後はとても達成感を感じました。また機会があれば参加したいです！【彦根東】
- ジャッジの方々から沢山のアドバイスを頂けて貴重な体験となりました。ありがとうございました。【神戸】
- 今日は様々な人の英語を聞いてよかった。上手い人もたくさんいて、ディベートをする中で多くのものを得たと思う。【彦根東】
- 高い技術をもつ人々のディベートに実際に触れられたことで、立論の仕方、説得力の持たせ方、比較の仕方などを学べたから。【北野】
- 普段、今日ほどの英文を短時間で書くことも、一人で話すこともありません。なかなかこういったことが苦手でしたが、今日は今までで一番自己表現ができたと思ったからです。来年もまた挑戦したいと思います。【神戸】
- 他の学校の生徒さんとディベートしたことがなかったので、他校の英語力の高い方や考えがしっかりされている方のスピーチを聞いて、とても楽しかったです。まだまだ不十分な英語でしたが、挑戦できて楽しかったです。また機会があれば他校とディベートしたいです。【神戸】
- 自分が得意な英語を最大限に活かせることができ、2 試合目でベストスピーカーに選ばれたのが嬉しかった。【北野】
- チームワークが良かった上、様々な視点から物事を考えられた。また、議題が面白かった。【北野】
- 普段とちがいで、別の高校の人と対戦できたから。また、自分たちの力をためすことができたから。【奈良】
- 他校の方々のレベルがとても高くて、自分たちもそのように思っていることを言葉にできるようになりたいと思えました。いい経験になりました。【彦根東】
- これまでは同校のチームとの勝負だったが、今回は他校のチームと対戦し、勉強になることが多くあった。【彦根東】
- 相手の主張を予想し、それに対する反論を考えるのが難しかったです。皆さんとディベートをして良い刺激を受けられました。【北野】
- コロナの影響で対面ではなかったけれど、対面と同じくらいの熱量の試合ができてとても楽しかったです。次はぜひ対面でもやってみたいです！とてもいい経験になりました。ありがとうございました！【北野】
- 自分の英語力の向上を感じられた【膳所】
- 人前で話すのは苦手だが良い経験を得られた。【奈良】
- 英語でディベートをするのは新鮮だった。【堀川】

- まだまだディベートに慣れていなくて、自分の力不足を感じましたが、沢山の刺激をもらうことができました。これからもディベートの力を上げられるよう、練習を続けたいと思います。【彦根東】
- 初めて他校と対戦し、これまでとは違うシチュエーションだったので緊張して上手く話せるか不安だったが、しどろもどろではあったが最後まで話を繋ぐことができたので、とても良い経験をする事ができた。今回の経験をこれからの活動に生かしていきたいと思った。【彦根東】
- 知的な交流ができた。【膳所】

### 教員の声

- 毎年確実に全体のレベルが上がっていることに驚いています！今後も非常に楽しみです！
- 生徒達が熱心にディベートに取り組む姿が見られて良い刺激を受けました。
- 生徒たちの白熱した姿をみて、感動しています。



## 2020 年度神奈川県教員研修(神奈川県教育委員会)

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2020 年 9 月 2 日 (水) 14:00-17:00

会場：オンライン開催(Zoom)

参加者：教員 38 名 (横浜翠嵐高等学校、横浜平沼高等学校、横浜緑ヶ丘高等学校、光陵高等学校、希望ヶ丘高等学校、川和高等学校、柏陽高等学校、多摩高等学校、横須賀高等学校、平塚江南高等学校、鎌倉高等学校、湘南高等学校、小田原高等学校、相模原高等学校、厚木高等学校、大和高等学校)

ジャッジ：PDA スタッフ、PDA 認定教育ジャッジ、東京大学  
神奈川県教育委員会

はじめに、高校教育課指導主事である田村総子先生より、この研修の目的と激励のお言葉をいただきました。その後、さいたま市立浦和高等学校浜野清澄先生から、即興ディベートの授業への導入指導について講義が行われました。



田村先生によるご挨拶



授業導入についての講義

浜野先生の講義では、経験に基づいた具体的な授業導入の手法について、豊富な基礎トレーニングの例を交えつつ説明して下さいました。講義の後の質疑応答では、「良い理由」や「良い例」の指導の仕方や生徒を指導する上で注意することなど、活発な議論が行われていました。



講義の内容



基礎トレーニングの紹介

今回の研修では前回の研修に引き続き、ディベートのラウンドを1回行いました。教員はディベートチームとジャッジチームに分けて、それぞれの役割の実践を行いました。ジャッジ実践に割り当てられた教員は、勝敗を考え、勝敗の決定、勝敗の理由の説明を行いました。



ラウンドの様子



教員ジャッジの様子



ジャッジコメントを聞く様子

## 参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・実践報告を伺うことができ、充実した研修となりました。Triangle Debate は、明日からの授業実践にすぐ移せそうです。生徒の活動から自分も学ぶことができると感じました。  
（横浜緑ヶ丘）
- ・だんだんとジャッジに関してメモのとり方を工夫できるようになってきました。しっかり聞く、メモをとる、の時間の使い方が身についてきました。生徒にもこのメモのとり方もしっかり指導していきたいと思います。（平塚江南）
- ・ディベート実践については昨年度からの参加で、ある程度の回数をこなしてきました。生徒への還元を目指して、今回のように他校の実践例をお聞きする機会などを多く作っていただけると嬉しく思います。（横浜平沼）
- ・浜野先生のレクチャーとジャッジコメントが非常に参考になりました。まだまだ慣れないですが、実践後のコメントで不明な部分がクリアになっていくのを実感しています。少しずつできることを増やしていきたいと思います。（柏陽）
- ・前半の講義内容が非常に良かったです。ディベートの実践例をたくさん知れるのはとても勉強になります。（鎌倉）
- ・実際ディベートを活発に取り入れていらっしゃる浜野先生の活動内容や、生徒の様子がわかってとても参考になりました。（厚木）
- ・浜野先生の講義も拝聴できてとても有意義でした。もっと練習しようと思います。（多摩）
- ・回を重ねることが改善になることが体験できました。自己研修も必要だとおもいました。  
（希望ヶ丘）
- ・本日も勉強になりました。ジャッジの仕方は基本からぜひ勉強したいです。（大和）

## 1.18



PDA 神奈川県立柏陽高等学校、希望ヶ丘高等学校、平塚江南高等学校

即興型英語ディベート 合同体験会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

神奈川県教育委員会、学力向上進学重点校 学力向上進学重点校エントリー校 校長会

日時：2020年9月12日（土）9:00-11:30

場所：神奈川県立柏陽高等学校、希望ヶ丘高等学校、平塚江南高等学校（Zoom オンライン開催）

参加者：生徒28名、教員5名

助成：公益財団法人日本財団、公益財団法人KDDI財団

体験会に先立ち、柏陽高等学校校長の井坂先生より「即興型英語ディベートで身につく力は、大学入試だけでなく、社会に出た後も広く役立つ力である」こと、また、各校が柏陽高校に集まり激論を交わした去年とは違い、今年はリモート開催だが「画面を通して、県内に共に学び切磋琢磨しあえる仲間がこのようにいることを、ぜひ実感してもらいたい」と激励の言葉をいただきました。

恒例のPOI（Point of Information）ポーズを練習し、早速1ラウンド目の論題発表です。論理的なスピーチ構成に、描写力のある具体例が各チームから出され、最初からレベルの高い議論が交わされました。2ラウンド目では、ジャッジからのコメントをいかし、アイコンタクトを意識する生徒が増え、スピーチ時間が足りないほど英語があふれる生徒や、言葉に詰まってもあきらめずに粘り、英語を絞り出し、積極的に意見を伝えようという姿が見られました。

ラウンド終了後、相手チームとお互いの日常や学校生活について画面越しに和気あいあいと笑顔で交流する生徒の姿もあり、井坂先生が最初に話された通り、この機会をプラスに転じて、刺激し合える仲間の存在や、この状況下でも様々なことに挑戦できることを体感できたようでした。引き続き練習を積んで、ディベートの力をさらに磨き、10月31日（土）「第6回神奈川県高等学校即興型英語ディベート交流大会」が、県内の仲間たちと熱く議論をかわす、学びの場、交流の場になることを願っています。



柏陽高校 校長 井坂先生によるご挨拶



全員でPOI



@希望ヶ丘



@平塚江南



エア握手

### 参加者の声（アンケートより抜粋）

#### （生徒）

- ・すごく緊張したが、とても楽しかったです。次に対戦するときにはもっと成長して神奈川県交流大会や全国大会に参加したいと思います！
- ・他校の方とディベートをすることで新たな刺激が得られました。次の交流会が楽しみです！！
- ・他校の皆さんとディベートする機会は今まででほとんどなかったので、新鮮な意見も多くとても良い刺激になりました。はじめてのモーションもあり、とても勉強になり楽しかったです。
- ・本当に面白く楽しかったです！いつもは同じ高校の人たちのみと考えを交えていましたが、今回は、他校の皆さんの意見が聞けて、いつもとちがうロジックで面白かったです。これからの活動のモチベーションにも繋がりました。世界大会に出場して、賞をもらえるよう頑張ります！
- ・初めての経験だったが、zoom だったからこそその安心感やアットホーム感があり、学びもたくさんありました。まだまだ緊迫感についていくのは大変だったが、とても楽しかったです。自分の未熟さも知れたし本番へのモチベーションも上がったし来年先輩として今の先輩みたいに圧倒的ディベート力を見せられる人になりたいと思いました。
- ・英語力だけでなく、考え方も学べてとても楽しかったです。
- ・最初はもっと硬い感じかと思っていましたが、していくにつれて自分の思いを伝えることができ喜びを感じました。慣れてきて自分の思いを言えるようになると、達成感もありとても楽しめました。
- ・意外としゃべれたので良かったです。普段一緒に練習できない人とできて、また慣れないオンラインということで緊張したけれど、初めて聞く人の英語を聞けたし、自分の改善点や良かった点、新しい視点を知ることができて、より力を伸ばせたと思います。
- ・同じ年代だけど他の高校で全く知らない人と身近な話題で交流できたのがとても楽しくもあり、緊張しました。相手が画面の中にいる、ということで対面より落ち着いて話すことができたと思います。

#### （教員）

- ・色々な生徒やジャッジの方の様子を知ることができて、良かったです。次の機会も楽しみにしています。
- ・コロナ禍で、なかなか他校と交流ができないので、貴重な経験でした。生徒達は、練習の成果を発揮することができていたので、とても良かったです。
- ・他校でどのようにディベートに取り組んでいるのかが分かり、参考になりました。

ベストディベーターに選ばれた皆さん

R1

- さん (柏陽)
- さん (希望ヶ丘)
- さん (希望ヶ丘)
- さん (柏陽)
- さん (柏陽)
- さん (柏陽)
- さん(平塚江南)

R2

- さん (柏陽)
- さん (平塚江南)
- さん (柏陽)
- さん (柏陽)
- さん (柏陽)

POI 賞に選ばれた皆さん

R1、2

- さん (柏陽)



Team 平塚江南



Team 希望ヶ丘



Team 柏陽



日時：2020年9月12日（金）13:00-15:30

場所：千葉県立船橋高等学校（Zoomを用いたオンライン開催）

参加者：生徒12名、教員1名

助成：公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI財団

計11名の生徒が即興型英語ディベート体験会に参加しました。全員がマスク着用ではありましたが、ラウンドが始まると最初から各テーブルから堂々としたスピーチを画面越しのジャッジに向けて展開していました。そして2ラウンド目ではジャッジからもらったアドバイスを早速、自分のスピーチに盛り込むことが出来ている生徒が多く見られ、POIが飛び交う活気のあるラウンドになりました。英語科の藤枝先生より、生徒の成長のためにこのような機会を増やしていきたいとのメッセージがありました。本日の体験会を通じて、多くの生徒が今後さらに上達したいという刺激を受けたようでした。



ジェスチャーを交えた力強いスピーチ



画面越しのジャッジに向けスピーチ  
(県立船橋高校教室にて)



チームの集合写真



ディベート終了後の握手

## 参加者の声（アンケートより抜粋）

- 自分の改善点を知ることが出来た。
- 丁寧な解説で次に繋がりそうです。
- 緊張感のある中行う、即興のディベートは新鮮だったからです。
- 客観的な講評をいただいたので、次に生かしたいと思います。
- とにかく単語と熟語を地道にひとつひとつ覚えようと思った。
- オンラインでディベートするのに慣れた。
- 上手く話すことができたから。
- 緊張して焦ってしまったからと、しっかり反論と再構築ができなかったから。
- もっと論理的説明して、納得して貰うために何が出来るか考えながら英語で話すのがやはり難しかったけれど、むずかしいなりに工夫しながらディベートができてためになったし楽しかったです。
- ひとりひとり講評をいただけてためになったから。

### ベストディベーターに選ばれた皆さん

R1

■■■■さん  
■■■■さん

R2

■■■■さん  
■■■■さん

### ベストPOI賞に選ばれた皆さん

R1

■■■■さん



日時：2020年9月14日（月）15:40-18:00

場所：千葉県立千葉高等学校（Zoomを用いたオンライン開催）

参加者：生徒14名、教員3名

助成：公益財団法人日本財団、公益財団法人KDDI財団

一昨年即興型英語ディベートを体験した生徒が中心となりディベート同好会が発足しましたが、今年の参加者はその同好会メンバーが主として、また他にディベートに興味を持つ初参加の生徒で、首都圏交流大会に向けたセミナーが行われました。

今回は遠隔【オンライン】での指導ということもあり、機器の接続等による不具合もありましたが、生徒のみなさんがスマホを利用するなど自ら率先して臨機応変に対応し、セミナーの開始となりました。

まずPDAスタッフによるこの取り組みの説明が行われ、ルール、スピーチ方法、POI(質疑応答)の確認後、その後すぐに、生徒たちの実践となりました。

2年生テーブルと1年生テーブルに分かれて、それぞれのディベートが始まりました。2年生テーブルでは初めから画面越しのジャッジにも熱意が伝わってくる力強いスピーチが展開されました。1年生テーブルでは初参加の生徒と経験のある生徒が助け合いながら準備し、一生懸命自分の言葉でスピーチを主張していました。

続く第2ラウンドでは、テーブルごとに肯定と否定を入れ替えて行いました。第1ラウンドとは異なる役割に挑戦する生徒も多く見られました。加えて、両テーブルの生徒たちは先ほどのラウンドでジャッジスタッフから受けたアドバイスを早速各々が意識して自分のスピーチに盛り込んでいるようでした。

1ラウンドから2ラウンドにかけて多くの生徒に成長の跡がみられました。ジャッジの勝敗およびコメント後は各テーブルでベストディベーター賞をもらった生徒が代表して感想を述べ、朗らかな雰囲気の中セミナーを終了しました。



遠隔で講義を聞く様子



意見を交わします



ジャッジを受ける様子



POI(質疑応答)



エア握手

### 参加者の声 (アンケートより抜粋)

#### (生徒)

- ・英語でしっかりと話した経験があまり多くなかったので、率直に英語で話すのが楽しいと感じました。
- ・自分は英語が読めるけれども聞こえない、話せないことで悩んでいたのが、いききっかけになると思って今回の体験会に参加しました。実際にディベートに参加してみて、英語で意見を交換したり、その場で考えて英語で発言したりするのはやはり難しかったけれど、とても面白かったです。また、先生からのアドバイスも嬉しかったです。ちょっぴり英語への苦手意識が和らいだ気がします。本当にありがとうございました。
- ・始まる前は緊張していましたが、今日は自分の今の技術をできる限り奮うことができたため満足しています。様々なアドバイスをいただき学ばせていただけたので、いまよりも高く技術を培いたと思います。
- ・テーマが発展的に話し合える内容でとても面白かった。POI を使って発言できたらもっとディベートの内容が奥深くなると思った。今回の講演で自分のスピーキング力、プレゼンテーション力をもっと上げていきたいと思えた。ありがとうございました。
- ・上手にスピーチができなくても気まずい雰囲気にならず、その上フィードバックまでしていただけるという素敵な経験ができたため。2 回目のディベートでは話したいことをだいたい緊張せずに表現できて達成感が得られた。
- ・英語で言いたいことをうまく伝えるのは難しかったですが貴重な経験になりました。ありがとうございました。
- ・自分の言葉にできない部分を言葉にしたり、友達の考えに納得させられたり、自分に対してしっかり評価を頂いたから。
- ・初めてのオンラインディベートでしたが、とても良い経験になりました。他者目線からアドバイスを頂けたことがとても嬉しかったし、役立ちました。ただ、オンラインで行うと、ハウリングが起きたり、意見を聞き取りづらかったりしたので、少しやりにくかったです。同じ部屋で 2 グループ同時に行うと、違うグループの声で聞き取りづらいこともありました。やはり、直接ディベートをするのがベストかなと思いました。ただ、このご時世だからしょうがないですね。

ベストディベーターに選ばれた皆さん

R1

■■■■さん (1年)

■■■■さん (2年)

R2

■■■■さん (1年)

■■■■さん (2年)

■■■■さん (2年)

POI賞に選ばれた皆さん

R1、2

■■■■さん (2年)



参加いただいたみなさん

## 1.21

PDA

PDA 愛媛県立松山東高等学校 即興型英語ディベート体験会  
一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

日時：2020年9月18日（金）15:45-17:45

場所：愛媛県立松山東高等学校（Zoomによるオンライン開催）

参加者：生徒5名、教員1名、見学2名

助成：公益財団法人日本財団、公益財団法人KDDI財団

体験会に先立ち、恒例のPOI（Point of Information）ポーズを練習し、早速1ラウンド目の論題が発表されました。ディベート未経験の生徒もいるなか、論題について堂々と現状の問題点を分かりやすく話す頼もしい姿や、相手の議論への反論も詰まることなく即興で返すなど、1ラウンド目からまるで経験者ラウンドのようなレベルの高い議論が交わされました。

ラウンド後は、ジャッジから各ディベーターへ良かった点と改善点がフィードバックされます。2ラウンド目では早速、ジャッジからのアドバイスをいかした議論が双方から出されました。スピーチの帰結を意識したり、論題のある世界では、どのように利益/弊害がうまれるのか、その変化・プロセスについての説明が両サイドから足され、さらには反論を支える根拠となる理由や具体例まで出そうとする姿もあり、生徒達のポテンシャルの高さに驚かされました。そのため、2ラウンド目ではスピーチ時間が足りなくなる生徒たちもいました。ラウンド後の質疑応答では、サマリースピーチの構成について質問が出るなど、終始積極的な学びと実践の姿が印象に残る体験会となりました。

引き続き練習を積んで、ディベートの力を磨いて、10月11日（土）に予定されています「第2回四国公立高等学校即興型英語ディベート交流大会」で、また会えることを楽しみにしています。画面越しではありますが、交流大会や全国大会が、同年齢の仲間たちと幅広い様々な論題について熱く議論をかわす、貴重な学びの場、交流の場になることを願っています。



## 1.22

PDA

PDA 神奈川県立横浜平沼高等学校、横須賀高等学校、  
横浜翠嵐高等学校、相模原高等学校 四校合同 即興型英語ディベート体験会  
一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

日時：2020年9月19日（土）9:00-11:30

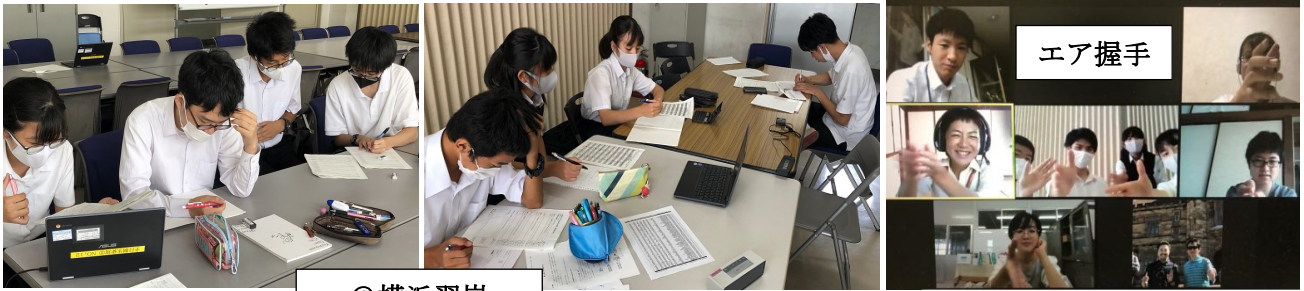
場所：各高等学校ならびに参加者自宅（Zoomによるオンライン開催）

参加者：生徒27名、教員6名

助成：公益財団法人日本財団、公益財団法人KDDI財団

横浜平沼高等学校長の鑪先生より、「即興型英語ディベートを通して、英語力だけでなく、相手の話をしっかり聞いたうえで、自分の考えを相手に伝える力など、総合的な力を育んでもらいたい」また、「今日もしスピーチが上手くいかなかったとしても、他校の生徒から良い刺激を受けて、10月31日の神奈川県立高等学校交流大会に向けて、モチベーションをあげていきましょう」との激励の言葉をいただき、4校合同での体験練習会が始まりました。普段からオンラインで練習している生徒も多く、1ラウンド目から、画面の向こうにいる聞き手をしっかりと意識した、アイコンタクトやジェスチャーが光るスピーチが多く見られました。2ラウンド目では、早速、ジャッジからのアドバイスをいかしたスピーチをする生徒が多く、また、身近な論題だったこともあり、豊富な具体例を時にユーモアを交えて話す場面では、相手チームもジャッジも大きくなずいたり、思わず笑顔がこぼれたり、活気ある楽しいラウンドになりました。本練習会を通し、他校の仲間の存在を知り、お互いが良い刺激となり、生徒のやる気につながれば幸いです。





@横浜翠嵐

### 参加者の声 (アンケートより抜粋)

(生徒)

- ・ 今回の練習会は今年に入ってから初めて他校と対戦する機会です、普段の練習では得られない刺激を得られた。また、このような機会があれば参加したい。
- ・ 1 ラウンド目よりも 2 ラウンド目の方が上手く話せて、成長を実感できた。また、たくさんの方々の実力を知ることによって、自分自身のモチベーションを高めることもできた。
- ・ 難しく、上手くできなくて悔しい気持ちもあったけれど、色々な視点で話し合いができて楽しかった。もっとディベートをやりたいと思った。
- ・ 先輩方は、相手の意見を聞いてそれに対して反論しながら、自分の意見を話していた。自分もその部分を見習い、しっかり出来るようになりたいと思った。
- ・ 緊張したけど、楽しかった。素早く英語の文章を考えることで、とても良い練習になったと思う。脳をよく使ったと思う。英語だけでなく、高校生同士で会話し合える会があってもいいなあと感じた。
- ・ 久しぶりに頑張って英語を話して、とても楽しかった。オンラインでも意外とスムーズにできた。
- ・ チームで協力することができて、とても楽しかった。また、2 ラウンド目の論題が身近な内容で、楽しく考えることができた。
- ・ 実際のディベートラウンドを通して、普段の練習の成果を感じることができ、達成感があった。交流大会当日のインターネット回線が少し不安。
- ・ 2 つ目の論題はいつものディベートと違う雰囲気でも、とても楽しかった。身近な問題をディベートで真剣に考えるというのは、とても新鮮で楽しかった。また、自分の課題についても知ることができた。
- ・ 論題について短い時間で考える力の向上になったし、他校の方々の意見を聞くことができて、とても参考になった。学校や県の単位でもっと盛んに行われても良いのではないかと思った。
- ・ 他校の生徒と交流することで、たくさんの新しい考え方を知ることができて楽しかった。また自分の実力が今どのくらいなのかを知ることができて、ますます精進しようと思った。ベストディベーター賞がとれなかったのが、大会本番に向けて、さらに頑張って仕上げたい。

(教員)

- ・ 生徒達がいきいきと考え、話していたのが印象的だった。初挑戦の 1 年生も意欲的に取り組んでおり、今後はますます楽しみになった。
- ・ 生徒の活躍の場が見られたことと、レベルの高いディベートを聞くことができた。すごく楽しく、とても勉強になった。



ベストディベーターに選ばれた皆さん

R1

■■■■■ん (相模原 G)

■■■■■さん (横浜平沼 B)

■■■■■さん (横須賀)

■■■■■さん (相模原 F)

■■■■■さん (横浜翠嵐 D)

R2

■■■■■さん (横浜平沼 B)

■■■■■さん (横須賀)

■■■■■さん (横浜翠嵐 D)

■■■■■さん (横浜翠嵐 E)

POI賞に選ばれた皆さん

■■■■■さん (相模原 F)

■■■■■さん (横須賀)

■■■■■さん (横須賀)



Team 横浜翠嵐

## 1.23



### PDA北海道公立高校即興型英語ディベート 交流会2020

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

日時：2020年9月21日（月）9:30-13:30

場所：オンライン

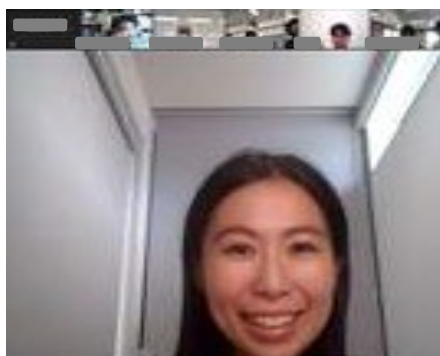
参加校：4校（北海道札幌南高校、北海道札幌西高校、北海道旭川東高校、北海道釧路湖陵高校）

参加者：生徒28名、教員4名

スタッフ：PDAスタッフ、東京大学、

助成：公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI財団

開会式では初めにPDA代表理事である中川智皓（大阪府立大学工学研究科准教授）より「大学でも前期の授業はほとんどがオンラインで行われており、オンラインで議論を行う経験を日本語だけでなく英語で積むことはこれからの時代に向けて良い経験となる」と挨拶がありました。その後本大会に参加している4校8チームの紹介があり、画面越しに元気な姿を見せていました。PDA恒例のPOI（質疑応答）ポーズの練習を全員で行い、1ラウンド目の対戦表が発表されました。



PDA代表理事中川による挨拶



全員でPOIポーズ

第1ラウンドの論題は、「Students should have the right to choose their teachers.

（生徒は教師を選ぶ権利を持つべきである。）」でした。初めは緊張した雰囲気でしたが、実際にディベートが始まるとチームメイトと戦略を立てながら、熱い試合が繰り広げられました。生徒の学力の向上や先生の指導法の改善などの利点や、一部の先生への負担の集中や生徒が楽な方に流れてしまうといった問題点など、身近な教育に関する話題ということで日々の学校生活に根差した具体的な議論が行われました。第1ラウンドから積極的にPOIのやり取りを行う生徒の姿も見られ、非常に活発な議論となりました。ディベート後には、ジャッジの先生のコメントを待つ間、画面越しに他校の生徒と交流を楽しむ交友関係を深めている一幕も見られました。



準備時間の様子(旭川東)



試合風景(釧路湖陵)



スピーチの様子(旭川東)



試合風景(札幌西)

続く第2ラウンドの論題は「**Japan should legalize euthanasia.** (日本は、安楽死を合法化すべきである。)」でした。患者の方の同意をどのように取るのか、諸外国と比べて日本はどうあるべきかなど難しい議論にも果敢に挑戦していました。第1ラウンドでもらったコメントを活かしてスピーチを行う生徒の姿もたくさん見られました。

ラウンドの後にはジャッジより、この論題で議論する時に気を付けるべきことや、考え方に関する講義も行われました。生徒は熱心にメモを取り、知識を深めました。



準備時間の様子(札幌南)



画面越しにエア握手



スピーチの様子（釧路湖陵）



画面越しからのPOI(札幌西)

そしてジャッジを務めた教員やスタッフが是非この人のディベートをみんなにも見てほしいとエキシビジョンディベータに推薦した6名によるエキシビジョンディベートが始まりました。論題は「**“Go To travel” campaign should be cancelled. (Go To トラベル キャンペーンは中止されるべきだ。)**」でした。生徒も勝敗を考えながらディベートを観戦し、ディベートが終わるとZoomの投票機能を使ってGovernmentが勝ったかOppositionが勝ったか投票を行いました。生徒ジャッジとメインジャッジの投票の結果、今回のエキシビジョンディベートはOppositionチームの勝ちとなりました。



エキシビジョンディベータ（札幌南）



エキシビジョンディベータ（旭川東）

最後に閉会式では結果発表を行いました。画面越しではあるものの拍手をするなど温かな雰囲気の中でチーム賞、ベストディベータ、POI賞を発表しました。最後にPDA代表理事の中川より「様々なディベートのやり方がある中で、数分間で簡潔に話す力が社会に出て一番使うことができた。PDAのディベートは50分で完結するので、今後も授業での導入を広めてほしい」というまとめの挨拶で、本交流大会を閉じました。

# 【表彰】

## 〈エキシビジョンディベータ章〉

PM	さん	(札幌西高校A)
LO	さん	(札幌南高校B)
MG	さん	(札幌西高校B)
MO	さん	(札幌南高校B)
LOR	さん	(旭川東高校A)
PMR	さん	(釧路湖陵高校A)



1位 (札幌南B)

## 〈チーム賞〉

- 1位 札幌南高校B
- 2位 釧路湖陵高校A
- 3位 札幌西高校A
- 4位 札幌西高校B
- 5位 釧路湖陵高校B

## 〈ベストディベータ賞〉

さん	(札幌南高校B)
さん	(札幌南高校A)
さん	(札幌西高校B)
さん	(札幌西高校B)
さん	(札幌西高校A)
さん	(釧路湖陵高校B)
さん	(釧路湖陵高校A)
さん	(釧路湖陵高校A)



2位 (釧路湖陵)

## 〈POI賞〉

さん	(旭川東高校A)	2回
さん	(札幌南高校A)	
さん	(釧路湖陵高校B)	



3位 (札幌西A)



ベストディベータ賞



POI賞

## 参加者の声（アンケートより抜粋）

### 生徒の声

- とても楽しかったです。昨年とは違いオンラインという形でしたが、昨年と同じくらいたくさん  
のことを学べ、今後に活かせると思いました。【旭川東】
- 自分の現状の英語のスキルやまだまだ足りない部分などを知れてもっと練習しようと思った。【釧  
路湖陵】
- パーラを通してたくさんの人と交流できて楽しかったです。最近大会に出れてなかったので良いア  
ウトプットになりました。【札幌南】
- 初めてディベートしましたが、色々な高校の生徒や先生方の意見を聞いて知識が深まりました。  
【札幌西】
- 英語の力をもっと伸ばすことは大切だと改めて感じたが、それと同じぐらい時事に関心をもって、  
常日頃から、色々考えておくことも大切だと思った。【旭川東】
- 自分の英語力のなさを改めて自覚したので、これから、ディベートだけでなく色々なものに触れて  
自分の英語力をあげて行けたらと思います。【旭川東】
- 即興ディベートへの参加は初めてだったので不安で緊張しましたが、すごく充実した時間を過ごせ  
て、自分にとって非常に良い経験になりました。【札幌西】
- 非常に楽しくて、安楽死がすごく難しく、教養という面ですごく良かったなあと思います。【旭  
川東】
- 即興型ディベートの大会に参加したのは初めてだったのですが、準備型とは違う「正義」という観  
点、1人が反論も再構築も立論も行うという忙しさなど知らなかったことばかりでとても勉強にな  
りました。【札幌南】
- 1年の時もこれに参加したのですが、その時は全然話せなかったのが良かったです！【釧路湖陵】
- 他の高校の方と英語で対話することで、自分の英語の改善点を客観的に見つけることができた。エ  
キシビジョンに参加されていた生徒の英語力に圧倒された。【札幌西】
- 疲れたけどとても楽しめました！！エキシビジョンマッチにも参加させていただいて、とてもい  
い経験になりました！【札幌南】
- ディベートの内容としてはみなさん軸がしっかりしていて、対戦相手ではありますが聞いていて  
「なるほどな」と思う様な主張が多く、それに加えこちら側に伝わるような英語で主張していたの  
でものすごく刺激を受けました。そして、ジャッジをしてくださる方々が私たちの主張を全て理解  
して、さらにアドバイスをくれたりなど、とてもすごく憧れました。【釧路湖陵】
- 去年初めて出場して、なかなか上手く表現したいことが時間内に表現出来なかったり、時間を上手  
く使えなかったのですが、今回は何とか言いたいことをまとめたり、相手の主張を擦り合わせるた  
めにPOIを活用できたのでとても楽しかったです。【釧路湖陵】

- エキシビションに出させていただいたのですが、それまでの役職とは違う役職でした。二つの役職をやらせていただいたことで、自分にあった役職を見つけられたように思います。貴重な機会をくださりありがとうございました。【札幌南】
- 本大会を通して、即興型ディベートの進め方を理解し、難しさとしら楽しさを感じることができました。個人的にジャッジの方の講評がとても参考になりました。今後即興型ディベートに臨む際に活かしたいと思います。【札幌南】

### 教員の声

- 本校生徒にとって大変良い経験となりました。
- ディベートが生徒の英語力を高めるのに役立つと思いました。生徒は緊張しながらも楽しんでいるようでした。
- 他校の生徒さんと対戦させられたし、それを観戦できて良かったです。ジャッジのコメントが大変参考になりました。



チーム写真（札幌南A）



POIポーズで集合写真（札幌西B）



チーム写真（釧路湖陵B）



チーム写真（旭川東）

## PDA 徳島市立高校即興型英語ディベート 体験会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2020年9月27日(日) 10:00-12:00

会場：オンライン (Zoom)

参加者：生徒14名、教員1名

ジャッジ：PDA スタッフ、名古屋工業大学

助成：公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI 財団

英語でのディベートは初めてだという人も多く、やや緊張した雰囲気の中、徳島市立高校の即興型英語ディベートの体験会が始まりました。はじめに、PDA ディベート推進委員長の大賀より、昨年の四国交流大会の様子を共有やルールの確認がありました。POI (ディベート中の質疑応答) の練習では、しっかりと腕を伸ばし、POI のポーズをすることができました。



POI の様子

早速第1ラウンドの始まりです。はじめのルールの確認で受けた「理由を言う」、「例を話す」というアドバイスをうまく活用して自分のスピーチの構成を考え、伝えることができました。途中、POIがあったテーブルもあり、お互いの意見が活発に飛び交いました。ディベートが終わると、「もっとこう言えばよかったというアイデアが後から出てきてもどかしい」と感想を述べてくれました。この経験を繰り返すことで、幅広い観点からのアイデアを早く考える思考力が少しずつ身についていきます。



準備時間の様子



すかさず POI !



続く第2ラウンドでは、第1ラウンドの終わりにジャッジから受けたフィードバックを活かそうとする姿が見られました。各ポイントについて、重要性についても述べることで、第1ラウンドよりも詳細な説明をすることができました。

第2ラウンドが終わると、第2ラウンドでベストディベータに選ばれた生徒が、「準備時間が短かったのが大変だったが、学びが多かった」、「またやりたい」と感想を述べました。



体験会の感想を述べています

### 参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・初めてディベートをして、最初は難しかったけど慣れてきたら楽しかったので次はもっと頑張りたいです。
- ・一回まで感覚を掴んで2回目に割とスムーズに臨むことができてよかった。
- ・信頼できる仲間と協力して、1つの物事を成し遂げることができた。ディベートの進め方、意見の構築の詰め方など、プロの方から、ディベートの方法を学べたので、良かった。
- ・授業ではそこまで準備期間がなかったので、文をちゃんと書いたり出来なかったけど、今回のディベートでは準備期間があったので良かったと思った。難しい題もあったけど自分の実力を知るいい機会になったかなと思います。
- ・難しいなかで初めて会う人と英語で話すのは新鮮で楽しかった。
- ・自分が思っていたよりも話せたのでよかったとおもう。
- ・授業で行った時よりも学びがあり、初めて楽しいと思えた。よりよいディベートに向けて精進するきっかけになるでしょう。
- ・初めての経験でとてもよい経験をすることができました。楽しかったです。
- ・もっと思ったことを英語に訳せる能力を持たないとダメだなと思った。
- ・賛成、反対両方の立場ができたし、2回目で慣れたらやりやすかった。



## PDA 東京都立日比谷高等学校即興型英語ディベート 体験会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2020年9月30日（水）13:00-15:30

会場：東京都立日比谷高等学校（Zoomを用いたオンライン開催）

参加者：生徒71名、教員5名

ジャッジ：PDAスタッフ、PDA認定教育ジャッジ、東京大学、九州大学、名古屋工業大学

助成：公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI 財団

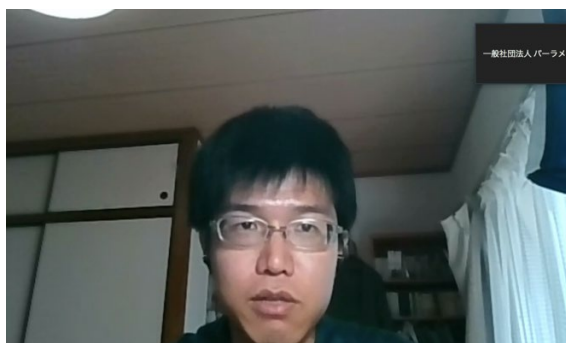
はじめに、昨年の交流大会の様子の共有や、POI（Point of Information）の練習を行いました。「POI！」と言いながらしっかりとPOIのポーズをキめることができました。

POIの練習を終えると早速第1ラウンドの始まりです。今回は各テーブルにメインジャッジだけでなく、生徒ジャッジが付きまます。準備時間が始まるとPDAスタッフより、ジャッジのコツについてレクチャーが行われました。フローシートの書き方、勝敗の決め方、ジャッジの勝敗の伝え方などについて説明がありました。

ディベートが始まると練習したPOIが飛び交い、活発な議論となりました。個人的なエピソードを具体例として提示するなど、説得力のあるスピーチでした。



POI 練習の様子



ジャッジレクチャーの様子



POI で質疑応答



ジェスチャーを用いてスピーチ



アイコンタクトをしてスピーチ



POI で質問しています



堂々とスピーチ



ジャッジに対して自分たちの考えを伝えます



第2ラウンドでベストディベーターに選ばれた生徒による本日の感想

## 参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・とても楽しかったです。難しいところもありましたが、工夫して構成を考えて意見を出すことができ、良かったと思います。
- ・意見を聞くことはとても楽しかったが自分の力不足を痛感したので次はもっと英語力をつけてやってみたいです。
- ・どちらの陣営も体験できたし、新しい人と出会えた。また、自分では考えつかない考えを知ることができ、考えの幅が広がったと感じられた。ベストディベーターになれたのが嬉しかったです。ジャッジは中々難しく大変だなと思いました。
- ・英語で本格的なルールをもとにディベートをしたのが初めてで、すぐに反論を考えないといけないのが難しく楽しかった。
- ・ジャッジをしていた時は簡単に見えたが実際やってみると緊張と焦りで上手く言いたいことを伝えられず、難しかった。また、やりたいなと思えるような経験でした。
- ・自分の意見を、根拠を持たせて、伝わりやすく、かつ素早くまとめるのは想像以上に難しかった。相手の意見に合わせて自分の主張を変化させ、対応していくのがとても大変だった。
- ・初めての経験で話せる英語が身につけていないということを実感しました。これからもこのような体験に参加したいと思いました。
- ・あまり英語でディベートをしたことはなかったけれど、想像以上に頭を使い、話すだけでなく聞く力や考える力などたくさんの力を総動員することが楽しかったです。
- ・非常に自分の成長に繋がりました。ロジックと英語を同時並行で考えるのは難しかったですが、英語力を向上させることができました。
- ・初めてディベートに挑戦したが、相手の話を聞き取ってその場で話を構築するのが難しかった。しかし、上手に論を展開できたときは嬉しかった。
- ・頂いたアドバイスをもとにもう一度ディベートを行ってみたい。反論や再構築を素早く考えて発言するのが難しかった。
- ・もう少し上手くできたのではないかと思う。日本語では組み立てられても英語になると言えない瞬間があり、悔しかった。
- ・僕は自分に自信を持ち過ぎてしまう性格なので今回の体験を通して何事も見くびらずに真面目に取り組もうと思いました。
- ・初めての即興ディベートでしたが、お互いの意見を聞きながら楽しんでやることができました。テストでは、英文の内容ではなく文法などを重視されるが、今回は英文の内容を意識しながら話さなくてはならず、難しかったです。授業でもやってみたいと思いました。
- ・相手の意見も自分の意見もしっか理解していないといけないのでそれは訓練したいです。とても難しい作業でしたが、自分の豊富な経験や意見を備えるようになれば討論できるのでそこは改善の努力をしたいです。
- ・即興型ディベートを体験したのは初めてだったのですが、2回目は大分慣れ、自分の意見

を具体例を交えながら話すことができました。ありがとうございました。

- ・意見の述べ方や考え方が分からなかったですが、友達の発表を聞いて意見の述べ方がわかりました。即興で意見を形にする練習をしていきたいです。

- ・英語でもディベートが割りとうまくできることを知り、自信になった。ただ、論理の構成や反論への対応など難しい部分も多々あった。今後はよりうまく自分の意見を言えるように今後の英語学習にとり組んでいきたい。またディベートをやってみたい。

- ・去年よりも英語の聞き取りができるようになっていたことが嬉しかったです。ですが、やはり、英語の即興での文の組み立てがとても大変だったので、これからもどんどん挑戦していきたいと思いました。

- ・最後のスピーカーだったので、ディベート全体の流れをまとめること、論点をまとめた上で自分側の主張をすることに努めました。そこは評価していただけて嬉しかったです。その一方で、即興で、的確な客観的な主張をすること、自身の論理の整理をしながら話すことの難しさを感じることができ、これからの課題も見つけることができたと思います。

- ・「その場で考える」ことは難しいと思った。普段から今回の議題のようなことについて考える必要があると思った。